

ことばと美術 2

芸術家自身が語る言葉、芸術作品について書かれた評論、文学を題材にした美術作品…。昨年度に引き続き、言葉（または文学）と美術との関わりを幅広く捉えて、当館の学芸員がお話します。

4回連続の講座ですが、1回のみのお聴講も可能です。

対象	18歳以上の県民
定員	60名程度
参加費	無料
申込先	宮城県美術館教育普及部 TEL 022-221-2114（直通）
申込期間	6/28[Fri.] - 7/19[Fri.]
時間	14:00 - 15:30（各回とも）
会場	宮城県美術館アート・ホール（佐藤忠良記念館地下1F）

第1回 7/28 [Sun.]

講師

絵画をかたる言葉

濱崎礼二（当館学芸員）

第2回 8/25 [Sun.]

講師

文字を観る？絵を読む？ —日本美術の「文字」と「絵」—

土生和彦（当館学芸員）

第3回 9/22 [Sun.]

講師

モチーフとしての言葉 パウル・クレーの場合

小樽山祐幹（当館学芸員）

第4回 10/27 [Sun.]

講師

「生きている画家」 松本竣介の言葉、松本竣介をめぐる言葉

加野恵子（当館学芸員）